

令和3年度第4回志木市社会教育委員会議録

日時 令和4年2月17日(水)

午後1時55分

～3時20分

場所 市民会館302会議室

出席者 委員：竹前榮二、宮原正幸、有馬隆江、一ノ倉達也、市之瀬初男、
稲垣真記、山下美香、野島悦子、鈴木民雄、星野祐子、
前田喜春、中村和子(順不同、敬称略)

市：浅見主幹、武井主任

欠席者 委員：松田良蔵、石井都、木下武久

1 開 会 浅見主幹

2 あいさつ 竹前榮二議長

3 協議事項 進行：竹前榮二議長

(1) 令和3年度事業報告および令和4年度事業計画(案)について

事務局より説明

生涯学習・文化振興事業、人権教育事業、文化財保護事業、放課後子ども教室
関連事業、青少年対策に関する事業の順に令和3年度の報告を行った
新型コロナウイルス感染拡大により、市民文化祭・美術展覧会・芸能祭・しき
子ども郷土かるた大会・文化体験道場は、中止となった。
成人式、人権研修会、放課後子ども教室は、感染対策をとり開催した。
令和4年度は、新しい生活様式の中で、事業を進める予定。

(議 長) 事務局からの説明に対し、ご意見はないか。また、皆さんの活動は
どうか。

(委 員) かるた大会は中止した。

(委 員) 緊急事態宣言の時は、全て中止した。今は、まん延防止措置の様子
を見ながら、感染対策をとり、縮小して行っている。

(委 員) 子ども対象の活動は、徐々に始めている。今年度はお囃子のオンラ
イン稽古を試みた。90%余りの出席者で、親子で参加する人も多く、
音を楽しむということなのではと考えている。

- (議長) ラジオ体操をオンラインにしたところもあった。
- (委員) 親の学習事業は、笠松先生が講師で行われたが、いつものグループワークは、中止となった。オミクロンに感染する小さい子が多く、乳児は、マスクが出来ないため、流行っているので心配である。
- (議長) 学校は毎日のように色々な学校が学級閉鎖と聞いている。
- (委員) 赤ちゃんファミリーをいろは遊学館で行っているが、大変人気のある事業なので、今年度は回数を増やしたが、まん延防止のため1回は中止となった。また、子育て支援センターは、濃厚接触者になった職員が多く勤務体制が大変である。
- (委員) コロナ禍で家にばかりいると孤立してしまう。ネットで話すより、会って話すことが大事。会える工夫も必要。
- (委員) 婦人会は、事業は何もできなかった。役員会の定例会だけは、開催している。
- (議長) 町内会も中止である。やろうとする意欲は、持ち続けたい。
- (委員) しきのまち案内人の会は、野外活動なので、細々と実施している。
- (委員) 大学の授業は、ほぼオンラインである。ゼミ学生といろは遊学館のコラボ事業で学生が育ってきた。達成することを体験させたい。
2/23にプログラミングを学ぶイベントを行う。ズームになって活発になった。
- (委員) オンラインを一般に巻き込むのは難しい。
- (委員) 町内会も zoom で事業を行っている。若手30代から40代が中心に進めている。
- (委員) 会員は1300名いるが、コロナで事業ができないので、友愛訪問を実施した。高齢者団体なので、病弱や車いすでの生活の人も多い。文化体験道場の華道体験は申込者が大変多く、コロナ禍での新しい流れが出来ている。
- (委員) おやこ劇場は、オンライン会議が増え、全国の人と話し合う機会が出来た。子どもたちには、感染対策をして、生の舞台を観賞してもらった。こういう時だから求められている。
- (委員) 子どもたちの外遊びの経験不足を感じる。外にでるのが怖くなっている。「見て、学ぶ」の経験が不足している。
- (委員) 図書館関係は、工夫して事業を行った。継続することが大切である。親子で参加が多くなった。

(2) 令和4年度の視察研修について

事務局より説明

令和4年度は、市内の施設等の視察になるが、視察の時期と場所について検討してほしい。

田子山富士塚（国指定文化財）・いろは遊学館（学社融合施設）・旧村山快哉堂（いろは親水公園再整備後）・柳瀬川図書館（地階の窓から光が差し明るい施設）・郷土資料館（志木市の歴史資料の展示）

（議 長）事務局からの説明に対し、ご意見はないか。

（委 員）舟運について、何か残っているか。

（委 員）具体的に残っているものがない。

（委 員）昭和40年代は、道の真ん中に野火止用水があった。

（委 員）河岸場から市場に少し古い道が残っている、田子山富士塚に行ったら近くで説明できる。

（委 員）明治の志木は、商いが中心であったとマスコミでは聞いているが、現在の状況からはそう感じない。

（委 員）まちの様子が一変した。宗四小や志木高校の所は、5mくらい低かった。堀抜井戸の水が上がってきた。時代が変わり話だけになってしまった。

（議 長）視察研修の場所は、事務局に任せる。また、時期は秋が良い。

4 その他

（議 長）来年度の議題などで提案があるか

（委 員）親水公園の使い方について説明してもらいたい。

（委 員）埋蔵文化財保管センターに前回の研修で初めていったが、とても素晴らしい施設で勉強になった。市民にもっと知ってもらいたい。道路からわかりにくいので、入りやすくした方が良い。

（委 員）埋文センターの前のバス停に名前を入れてはどうか。

（委 員）郷土資料館も入っている施設かわかりづらい。

（委 員）郷土資料館は、学芸員がいるのか

（事務局）市民団体に委託している。また、文化財の周知として、第二庁舎の窓ガラスに写真パネルを展示し、ツイッターも始めた。周知事業は、少しずつ進めている。

さらに、第二福祉センター事業で、志木のまち案内人の会の皆様と埋文センターの職員が講師となり、文化財講座を検討している。

（委 員）埋文センターの職員はいきいきと説明していた。

（委 員）オンラインで大学とカパルのコラボ事業を開催するので、参加してほしい。

（委 員）郷土資料館を見学するのは良い企画だと思う。市内の歴史遺物は、あそこにある。

（委 員）子どもたちが、体験する場が少なくなっている。昔は、学校で鑑賞会があった。自分を表現する、遊びのコミュニケーションが大切。生

の舞台を見て、その人になりきる「ごっこ遊び」などが舞台の人とのやりとり、思った事、言った事が自信につながる。そういう文化を行政が大事にしていけるといいと思う。

(委員) 地域の子が、昔は外で遊んでいたが、今は学童で遊んでいる事が多い。近所の子ども同士が遊んでいる

(議長) 次回の日程はどうするか。

(事務局) 6月7日火曜日午後1時30分からとする。

6 閉 会 有馬隆江副議長